第41回講談社漫画賞発表
The Kodansha Manga Awards
講談社では、日本の漫画の質的向上をはかり、その発展に寄与するため、昭和52年から「講談社漫画賞」を設けて、毎年最も優れた作品を発表した漫画作家を顕彰いたしております。
本年度の選考委員会は5月9日に開かれ、「第41回講談社漫画賞」を決定いたしました。
講談社漫画賞のシンボルとして山形博導氏制作のブロンズ像「MEMORY」が受賞者に贈呈されます。
少年部門
月刊少年シリウス／所載
将国のアルタイル
カトウコトノ
少女部門
別冊フレンド／所載
PとJK
三次マキ
一般部門
ヤングマガジン／所載
ザ・ファブル
南勝久
the Kodansha Manga Awards
第41回講談社漫画賞受賞作品
正賞／賞状およびブロンズ像
副賞／金100万円
MEMORY

選評 赤松 健

あかまつ・けん

今回、少年部門と少女部門の選考が非常に難航しました。
少年部門は、少年誌らしいアクションや好感の持てるキャラ満載の『炎炎ノ消防隊』も推しましたが、決選投票の結果、今回は10年もの連載期間を誇る『将国のアルタイル』の画力・構成力・設定力に軍配が上がりました。
少女部門は『PとJK』と『思い、思われ、ふり、ふられ』の一騎打ち。若干出オチ感はありつつも、読みやすく楽しく分かりやすい前者に僅差で決定。他には『春待つ僕ら』の逆ハーレム構成も良かった。
一般部門のみ、『ザ・ファブル』の面白さが際立ち、全会一致で決定となりました。いかにもヤンマガらしいバイオレンスに加え、トボけた主人公の言動や工夫が抜群に楽しい。のけ者のいない『亜人ちゃんは語りたい』は「けものフレンズ」にも似た多幸感があり次点。全体的に、メディアミックスも含めて世界観ごと楽しめる候補作が多く、レベルはかなり高かったと思います。

『PとJK』

うえやまとち 選評

少年部門は、迷いましたが『炎炎ノ消防隊』を少年漫画らしい元気さと絵のセンスで推しました。でも『将国のアルタイル』の圧倒的画力、構成力、このボルテージで10年描いてきた力に敬意を表し、文句なしの受賞だと思いました。『だがしかし』も短いページながら、ユニークで豊富な駄菓子の世界を楽しめました。
少女部門は、60代のじーちゃんであるボクでも、スッと入り込めて読みやすかった『PとJK』を推しました。
一般部門は『ザ・ファブル』を1位に推す人が多く、割とすんなり決まりました。ボクも1位。ヤンキーでアウトロー的漫画はあまり読まないのですが、全然違って、こんなおもしろい漫画だったとは!! ある意味、落語的で、キャラがたって、人間っぽく、リアルで、おそろしくて、おかしくて、悲しい。文句なしです。『東京タラレバ娘』も大好きな作品で、最高におもしろかったです。受賞者のみなさま、おめでとうございます!!

選評 大暮維人

おおぐれ・いと

受賞者の皆様、おめでとうございます!
一般部門の『ザ・ファブル』は、掛け値なしに面白く、現代の風刺や人生のフィロソフィーにも満ち、誰が読んでも手放しで楽しめる漫画。前作に引き続いて掲載誌を背負っている作者の凄みを感じました。
『PとJK』は、設定のうまさが光り恋愛の一番美味しいところを余すところなく楽しませ、青春群像劇としても秀逸な作品です。同部門では『思い、思われ、ふり、ふられ』のハイレベルな構成力と緻密な感情描写も抜きん出ており、来年以降に期待。
『将国のアルタイル』は、巻が進むにつれ設定の緻密さに加え感情や背景が重なって重厚さが増し、作者の化けっぷりと相まって加速度的に面白さが増していく。個人的に、世界基準の大作に仕上がりつつあると感じました。

『将国のアルタイル』

加瀬あつし かせ・あつし 選評

少年部門は少年漫画王道のバトルファンタジーの『炎炎ノ消防隊』と一般部門でも見劣りしない『将国のアルタイル』とで競われましたが十年連載を通じて成長途中の主人公同様成長し続ける作家の姿が評価され、『将国のアルタイル』の受賞となりました。

少女部門は少女漫画の耐性を持たないユーザーでも設定の面白さで惹き込める『PとJK』が受賞、接戦で惜しくも受賞を逃しましたが、『思い、思われ、ふり、ふられ』は個人的には今回全ノミネート作品中、イチ推しの作品で、完成度の高さやテクニックに脱帽しました。

一般部門は凄腕の殺し屋をわざわざカタギの生活に放り込み、日常をユーモラスかつリアルに描いた発想が凄い、『ザ・ファブル』が、ダントツの受賞でした。

亜人ちゃん達を通してハンディキャップを持っている人達への接し方や、差別を隠れテーマにしている『亜人ちゃんは語りたい』もあったか味のある良作だと思います。

皆さん受賞オメデトウございます、勉強になりました。

もりたか・ゆうじ 選評 森高夕次

候補作の中では『ザ・ファブル』と『東京タラレバ娘』が群を抜いていた。

『東京タラレバ娘』はコミック界のトップリーダーとしての面目躍如。ドラマ化もされて社会的な影響を及ぼした事も評価したい。個人的には『ザ・ファブル』とダブル受賞を推した程だった。

『ザ・ファブル』は『ビー・バップ・ハイスクール』から連綿と続くヤンマガの伝統的アウトローコミックの正統派継承者。

この、スローな日常の中に事件を盛り込んで行くリズム感は「わかる、わかる」。そして世界観が薄っぺらくない。

南氏の作家としての懐の深さには舌を巻く。今のコミック界で、このテイストを描けるのは氏だけではないだろうか?

現代の漫画は、ややもするとライトユーザーにとっては、ハードルの高いモノになっているのかもしれない。その観点からも、この2作品の役割は大きい。

少年・少女部門は低調という評価だったが、巻数がまだ浅いせいだろう。

今後に期待したい。

こばやし・みゆき 小林深雪 選評

少年部門の『将国のアルタイル』は、選ぶテーマや作画、漫画の端々に作者のこだわりを強く感じた作品です。ユーラシア大陸の歴史や文化を換骨奪胎し、濃い密度の内容で、十年連載を続けていることが素晴らしい。

高校生の恋愛漫画は次々と映画化され、百花繚乱ですが、少女部門『PとJK』は、一味違う。警察官と女子高生がいきなり結婚という設定に加え、ギャグのセンスで飽きさせません。『思い、思われ、ふり、ふられ』は、繊細な絵の魅力と思春期の心の動きを丁寧にすくい取っていくネームが秀逸でした。

一般部門の『ザ・ファブル』は、伝説の殺し屋がバンバン人を殺す話かと思いきや、仕事を休んで一般人として過ごすという意外な設定。裏社会の残虐さを、主人公たちのなんとも言えないおかしみが払拭してしまうという未知の面白さ。また『亜人ちゃんは語りたい』の異質なものが共存する世界観も魅力的でした。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

『ザ・ファブル』

山下和美 やました・かずみ 選評

受賞者の皆さん おめでとうございます。

一般部門はキャラクターが斬新で、ヤクザ物の枠を超えて、私を含め女性読者もハマりそうな不思議な魅力が満載の『ザ・ファブル』が多くの支持を受けました。

少年部門は主人公の将軍としての成長だけでなく、数多くのキャラクターを魅力的に描いて巻数を重ねることに作品としても成長した『将国のアルタイル』。ファンタジーに疎い私も思いの外ハマった作品です。

少女部門が一番悩まされましたが、警察官と女子高生の恋愛を少女漫画に併せて楽しく展開してくれた『PとJK』に。

本当に惜しかったのは『思い、思われ、ふり、ふられ』。何? このドキドキ感…。あっそうだ! 私少女漫画家だった! と久々に自分自身が激しく揺さぶられた作品でした。

第41回講談社漫画賞

受賞のことば

将国のアルタイル

カトウコトノ ●6.15生まれ 新潟県出身●

この度は、第41回講談社漫画賞をいただきありがとうございます。

『将国のアルタイル』は、「自分は未熟だけど、自分の本当に好きなものを描けば、同じものを好きな方には楽しんでもらえるはず」と、好きなものを詰め込んでつくった作品でした。

そして、担当さん・アシスタントさん・読者の方や編集部の方、そのほかたくさんの方のおかげで、連載前に描きたいと思っていた以上のものを形にすることができました。

漫画賞は自分にはもったいないという思いでいっぱいですが、そうやって描いた作品がこのような賞をいただけて本当に嬉しいです。連載は後半に入っていますが、私の漫画をここまで読んでくださった読者の方に、「読んでよかった」と思っていただけるように、最後まで描ききれればと思っています。

本当にありがとうございました。

少年部門

月刊少年シリウス／所載

別冊フレンド／所載

PとJK

三次マキ ●3.31生まれ 北海道出身●

このたびは、講談社漫画賞に選んでいただきありがとうございます。

『PとJK』という作品に対して、ずっと「自分の実力以上の評価をもらっている」という気持ちがあり、今回の受賞もやはりそう感じています。

「本当に自分でいいのだろうか」と正直戸惑いが大きいのですが、いただいたからには、この評価に追いつけるよう残りの物語を全力で描き切らねばと思っています。

そして、壊滅的に画力のない私を見放さずデビュー前から今に至るまで面倒を見てくださった担当さん、背景やトーン処理を丸投げしても嫌な顔一つせずにこなしてくださるアシスタントさんたち、支えてくれる家族、なにより漫画を読み続けてくださった読者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

少女部門

ザ・ファブル

南 勝久

●1971.5.30生まれ 大阪府出身●

まず最初に講談社とヤングマガジン編集部に感謝します。また講談社漫画賞の選考委員の皆様、オフィス南のスタッフ、デビュー以来、二人三脚の担当氏、そしてこの漫画を応援してくれている読者の皆様に感謝します。

前作の『ナニワトモアレ』から『ザ・ファブル』に移るにあたり結構、覚悟がいりました。『ナニトモ』は時代の流れと共に、年々描きにくくなり連載開始から10年過ぎた頃には、平成元年当時の車や風景や、キャラの備品ひとつとっても揃えるのが難しくなり、週刊連載をこなすのに、かなり気をもみました。

しかし『ザ・ファブル』のスタートで、そのストレスから解放され、自由に描けるようになった分、逆に言い訳もできないと思い、前作の資料をひとつ残らず処分しました。これがダメならまた『ナニトモ』に戻るとか、中途半端なことはしたくなかったからです。

自分には何本も同時に連載できるような器用さはないし、覚悟のない作品で成功できるほどの天才性もありません。器用さや天才に憧れながらも、常に一本勝負しかできないからこそ、今作に自分のすべてを注ぐことができました。今回ありがたい賞を頂けたことで、いろいろあった靄のひとつが晴れたような気持ちになりました。これを機に、新たな自信を胸により一層、良い作品が作れるよう、日々楽しみながら歩を進めていきたいと思います。勝負はいつも今、そしてこれからも。皆様本当にありがとうございました。

ヤングマガジン／所載

第41回講談社漫画賞候補作一覧（作品名五十音順）

The Kodansha Manga Awards

●少年部門●『炎炎ノ消防隊』大久保篤／『寄宿学校のジュリエット』金田陽介／『将国のアルタイル』カトウコトノ／『だがしかし』コトヤマ

●少女部門●『思い、思われ、ふり、ふられ』咲坂伊緒／『出口ゼロ』瀬田ハルヒ／『春待つ僕ら』あなしん／『PとJK』三次マキ

●一般部門●『ぐらんぶる』原作：井上堅二 漫画：吉岡公威／『ザ・ファブル』南勝久／『亜人ちゃんは語りたい』ペトス／『東京タラレバ娘』東村アキコ／『ヲタクに恋は難しい』ふじた

〈選考委員・五十音順〉 赤松 健／うえやまとち／大暮維人／加瀬あつし／小林深雪／森高夕次／山下和美

四季賞を受賞した精鋭が挑む、究極の読み切り一本勝負!!!!

第2回 四季賞新人戦

ROOKIE BATTLE アフタヌーン 四季賞 新人戦

四季賞新人戦とは?

「四季賞新人戦」は新人漫画賞「アフタヌーン四季賞」入賞者のデビュー作を掲載する読み切り枠です。毎号フレッシュな漫画家のタマゴが登場予定!お気に入りの新人が見つかったら、ぜひ大々的な応援をお願いします!!あなたの応援次第で再登場や連載開始まであるかも!?

第2回 四季賞新人戦を勝ち抜いたのは……

栗田知佳(くりたちか) 『箱の中の中』

作者コメント

インスタグラムを眺めていた時に、携帯画面の中のイメージから匂いが漂い、それを無意識のうちに吸い込んで、それによって過去にタイムスリップしたかのような気持ちになったのです。そんなことからこんな話ができました。

担当コメント

四季賞審査員・藤島康介氏も「この人はこのままでいい」と高評価の栗田さん。氏の描くおもちゃ箱のような世界観にご注目ください!!

PROFILE

●栗田知佳:「星のまたたき」で2016年四季賞冬のコンテスト四季賞受賞。

アフタヌーン公式サイト「モアイ」(http://afternoon.moae.jp)のwebコミックコーナーにも同時掲載。応援メッセージがすぐ送れますよ!

◀ 次ページよりスタート!!

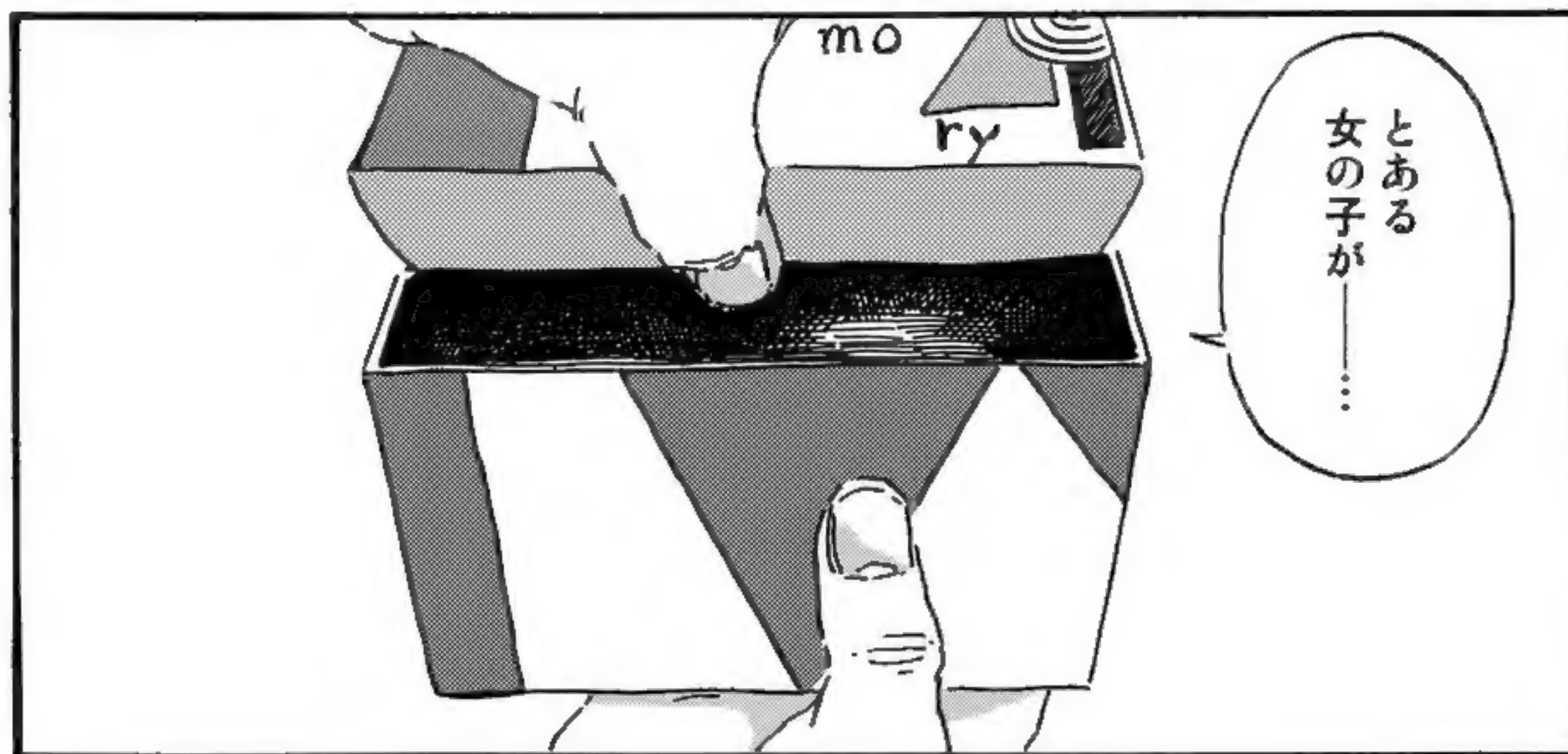
箱の中の中

四季賞新人戦第2回掲載作品！

これは、ふしぎなお店のお話。そこにあるのは——。

ああ
これかい？

縦に
見るんだよ

この作品は…

★この漫画はフィクションです。実在の人物、団体名等とは関係ありません。

2016年四季賞冬のコンテスト四季賞受賞者、鮮烈デビュー!

ファンタスティック読み切り!!

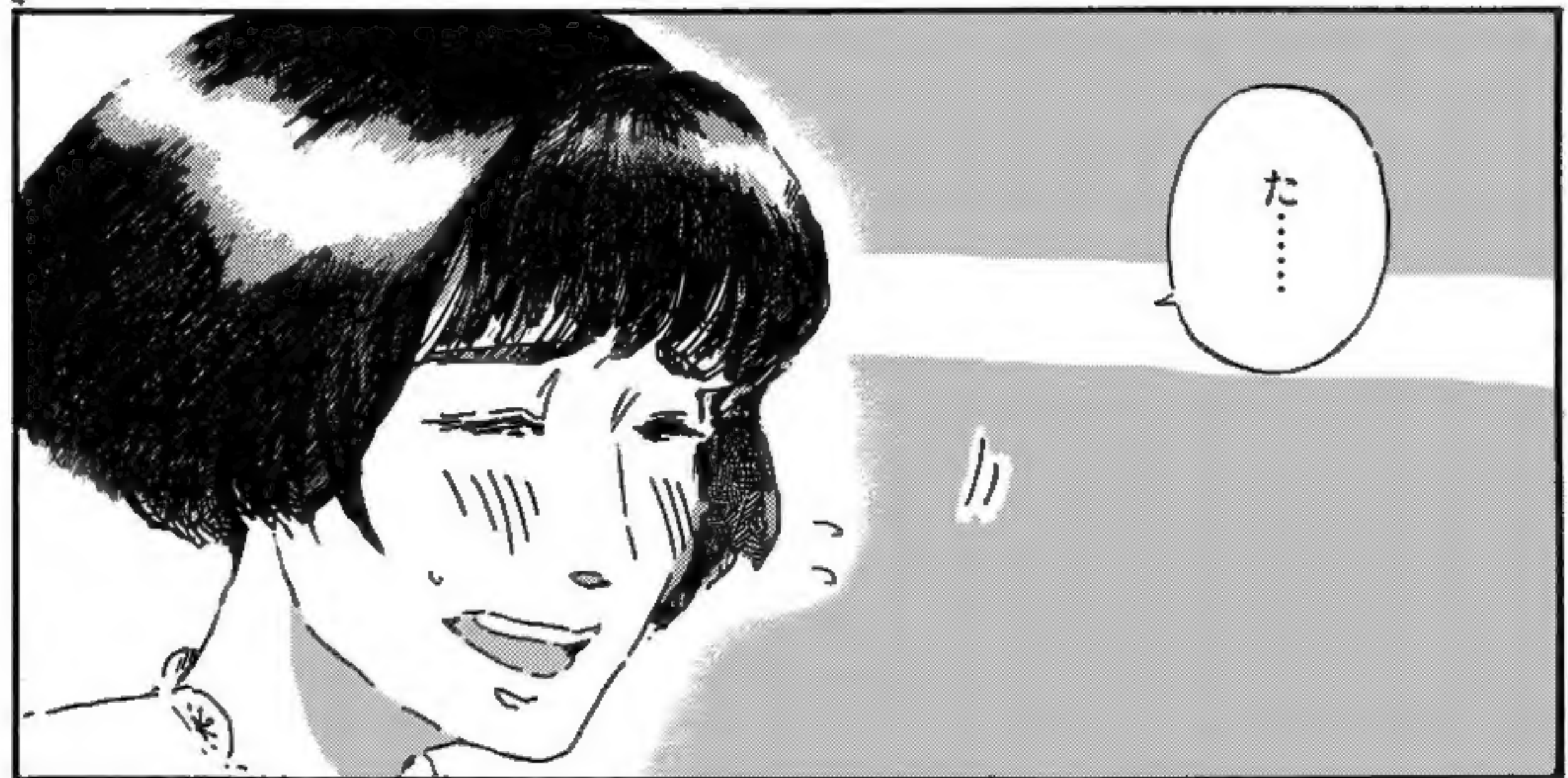
箱の中の中

それは、「私」が詰まった箱なのです——。

魅惑の栗田ワールド、お届けします!

栗田知佳（くりたちか）

作者近況
栗田知佳

「ゼラチン」って響きいいですよね。さらにいうと「メラニン」とか「カラメル」とかもよくて、一周まわって「ふとん」とかもいいと思うんです。でもやっぱ、「かにぱん」。

ゆっこ
とててて

今日は来てくれてありがとう！
いえいえ

友ちゃん本当にすごかっ…

た……

どうしたの？

いやぁ〜本当にすごかったのにすごかったとしか言葉で表現できなくて…
もどかしいというか…

私は音楽で表現できるわけじゃないから
言葉を使わないといけないのに下手というか

ゆっこらしい〜大丈夫伝わってるから
ありがと
そ…そう…？

友ちゃんはあー言ってくれたけど
ガタン
ゴトト

ゴトト
ガタタ
それでもやっぱりこのままじゃ嫌だな…

お…
お客…
……客さん
ガクン
お客さん！終点ですよ
ぱちん
ハ…ハイッすみません！

って降りたはイイケド…ここどこさ！
ちょっと〜く運転手さん
ブロロロロ

………
一軒しかないし…

あっそうだ
ケータイ

圏…外…
21:00
電波がないよ
メモ
嘘(うそ)でしょ…!?

あの家を
頼るしか
ないなぁ…

軽に
しゃいませ
箱
何かの
お店なのかな？

良かった
こんな時間だけど
開いてる…

キィィ
す…
すみませーん

こんばんはー…

な…
なにここ
箱いっぱい！

どれか1つお選び下さい

じゃあ
これ！

…

心の箱

やーん素敵!!

ンマ また ありがちな言葉で…
ありがとうございます それは僕の作品です
カッ

帰りのバスを待っているのでしょう?
もうしばらくは来ないので
箱の中をご案内しましょうか

えっあっハイッ ありがとうございます!
って箱!? えっ…

ではっ
パチッ

!!
ボン
ようこそ
記憶の箱へ

もく…
もく

僕の名前は中井(なかい)です
師匠
あっ 師匠!
みんなは「師匠」とか「先生」とか呼んでますけど

中井さん…
ちょっとキャパオーバーしてます〜

ここは何なんですか?
君の開けた箱の中

そして…

あの立方体の箱には1人の一生分の記憶が入っているのです

それを開けて
記憶の「種」を取り出す
そして その記憶の持ち主の引き出しに入れる
すっ…
するとその人が現実でそれについて思い出すのです
そういえば…
そして役目が終わったら箱へ戻します
14

それはいつも何気なく生活の中に存在する「記憶」なのだけれど
ここではそんな当たり前を作ってる人がいるという世界観なんです

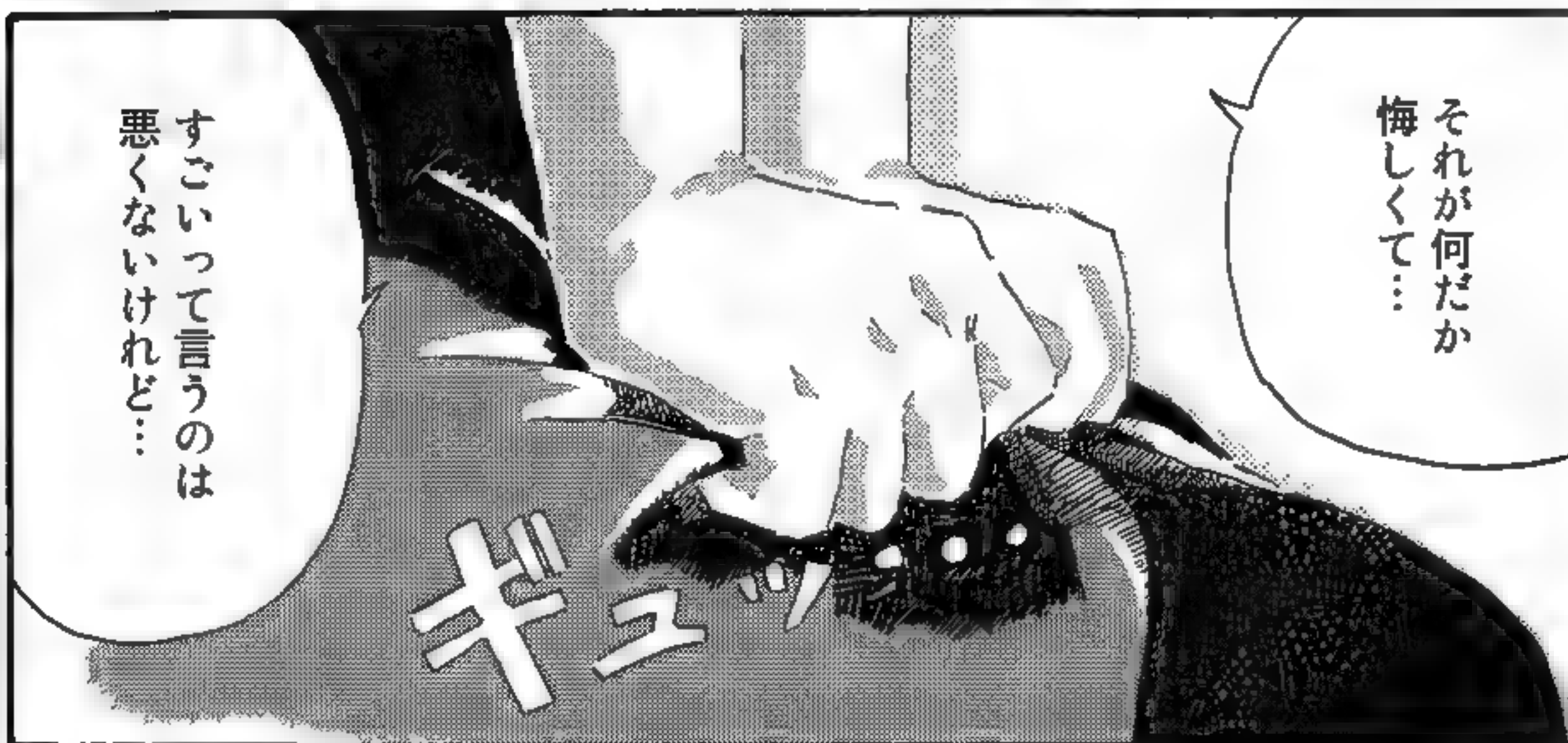
そんな角度で…
すごいすご…
ハッ…

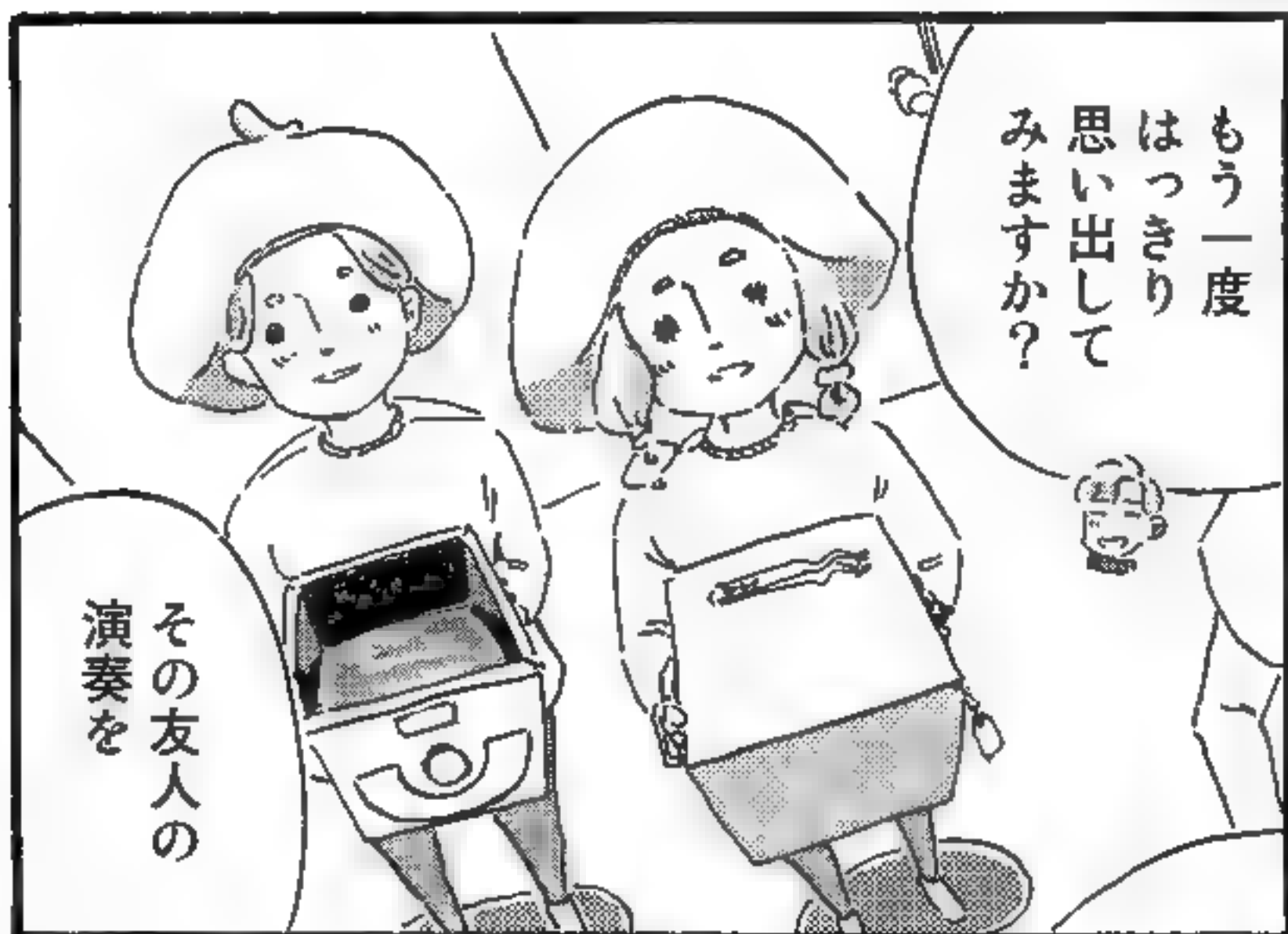
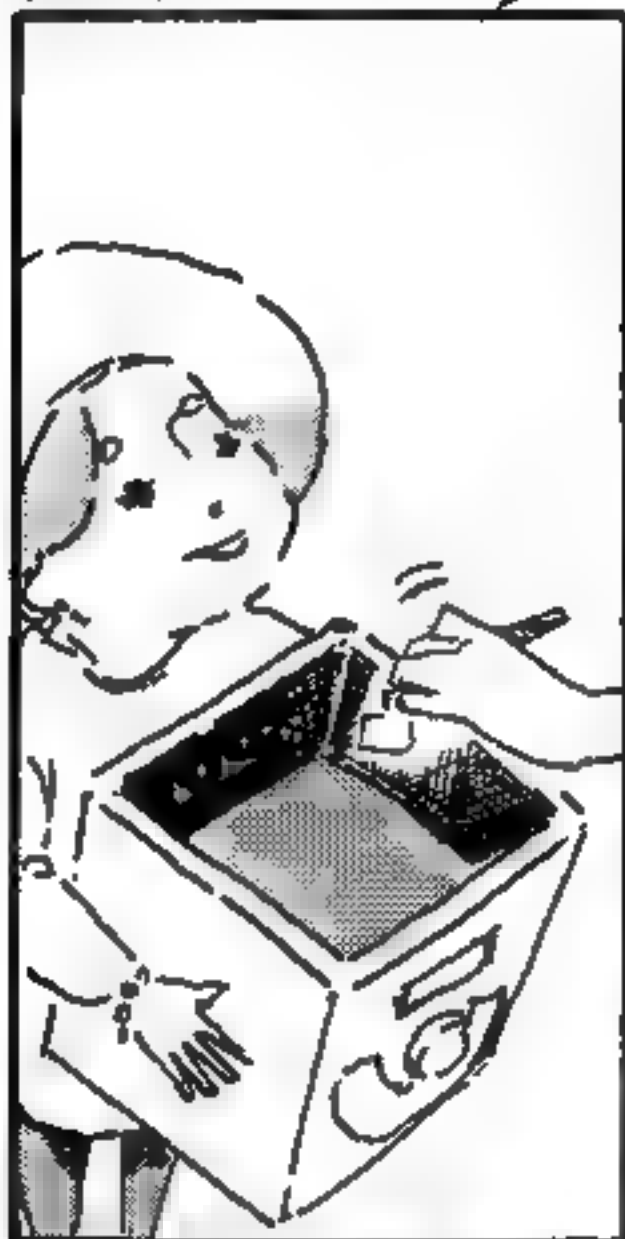
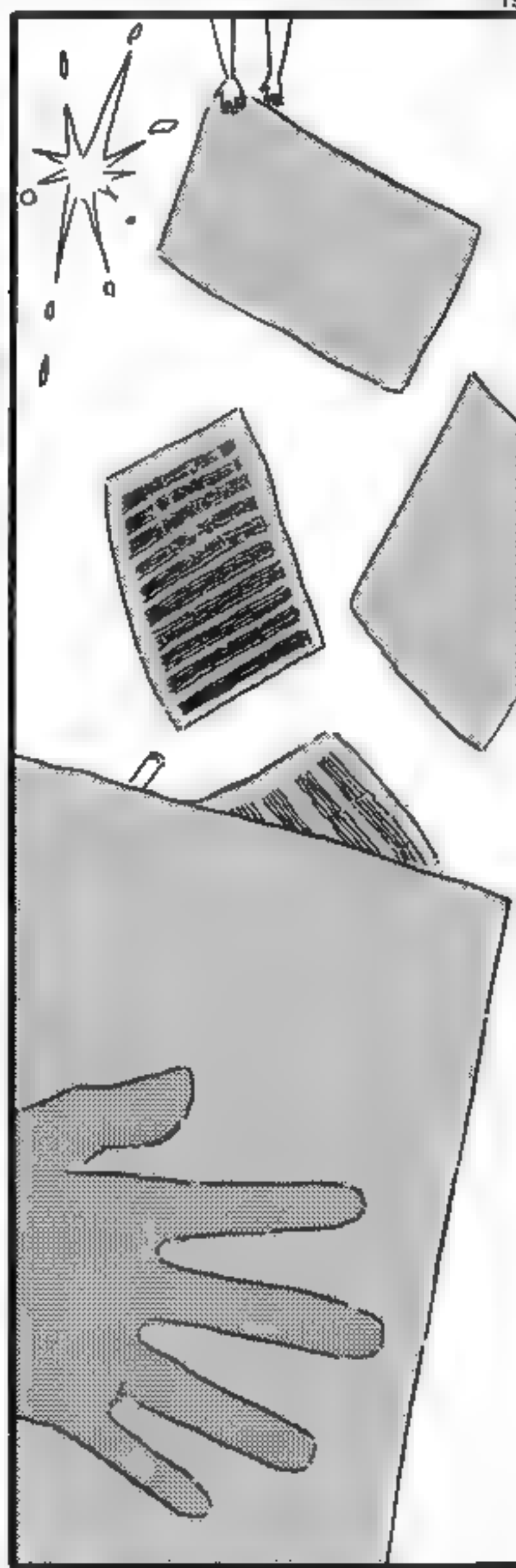
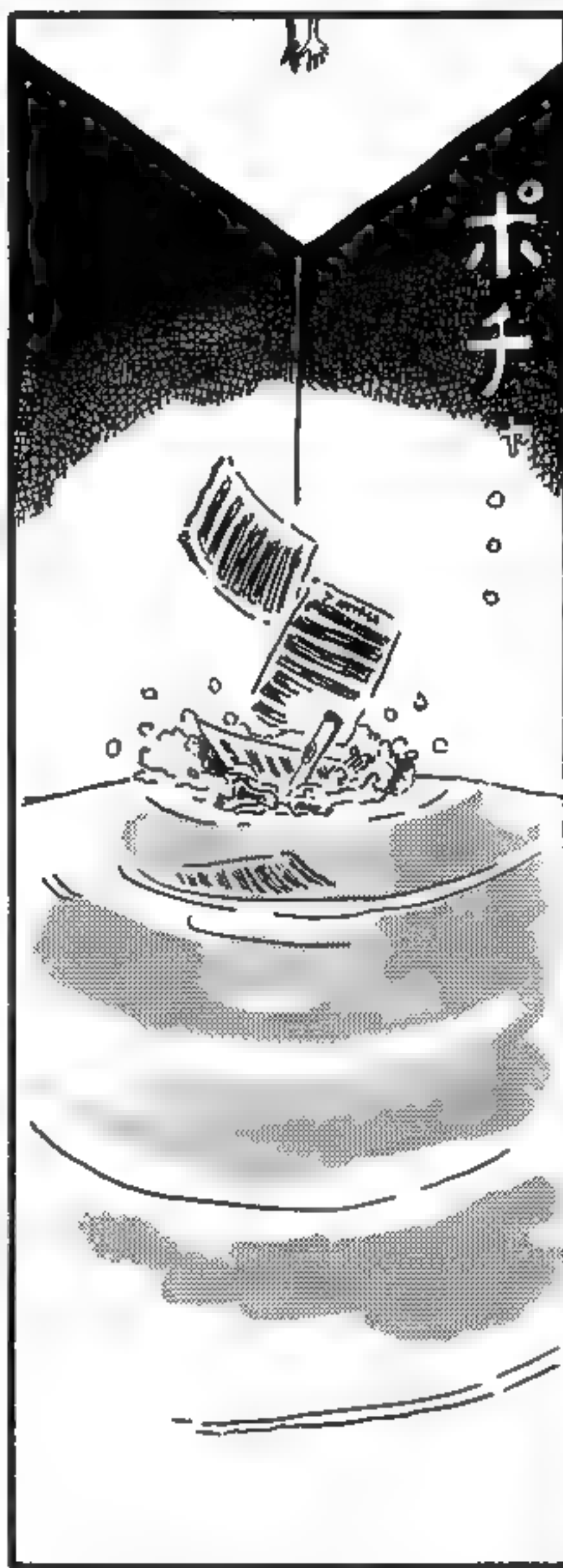
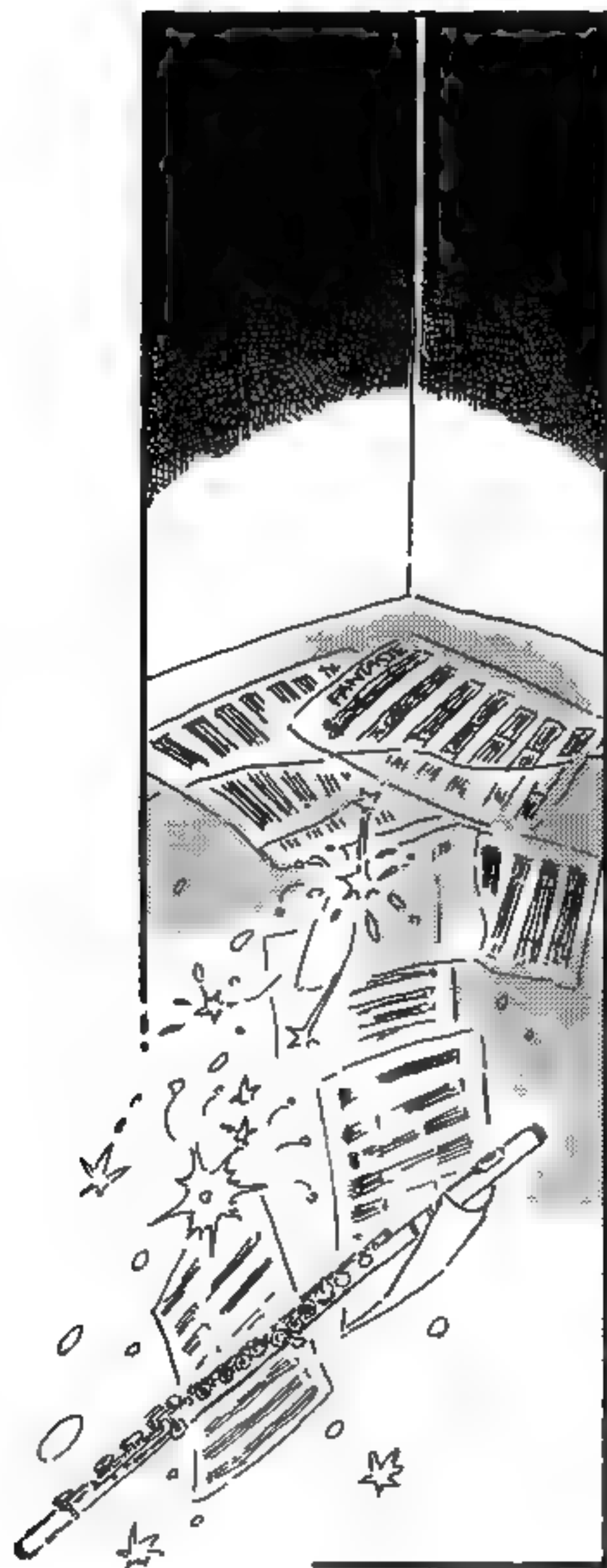
あっまた…
「すごい」ってすぐ使っちゃう…

また?
やっスミマセン気にしないで下さいっ

16

さっき
友人の演奏を
聴いてきて…

その時も
「すごい」の
ような表現しか
伝えられませんでした

それが何だか
悔しくて…
すごいって言うのは
悪くないけれど…
ギュ

使ってしまうと
考えるのを
諦めてしまったような
気がするのです

じゃあ
パチン
トテテテテ

もう一度はっきり思い出してみますか？
その友人の演奏を

こ…これは私の記憶ですか？
今日飲んだ紅茶
8:15
ええそうです

でもそれって箱の中だけの話じゃ…
ええ

忘れていませんか 僕らがいるのは その箱の中ですよ
何でもアリです
そっか！
うにょ
うにょ
ほえええええええ

感想がまとまるまで
何回も思い出せばいいじゃないですか!

ポチャ

ff

dim. e rit.

grazioso

coulé ou detaché

なんでだろう

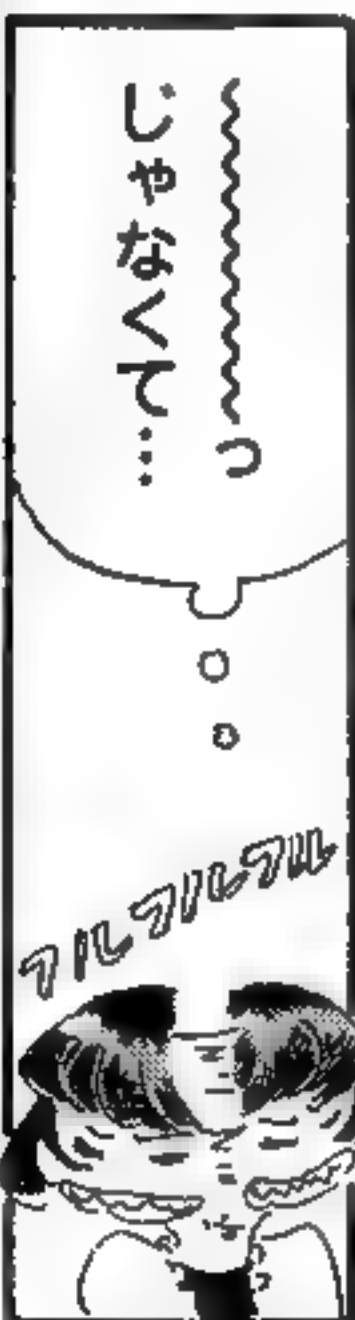
確かに さっきと 同じはずなのに

何か ちょっと 違う…

いつも思うのですが

思い出って思い出す度に最初の印象とだんだん変わっていきますよね
パッ
不思議です

だから感想もちょっとずつ変わってまとまらないというか――
ぐるぐる
――…言い訳かもしれないですが

空気に触れたりピンセットで取り出すのが原因だったりするのかな…?
ブツブツブツブツ
さ…さあ?

お力になれずすみません…
しゅん

えっ赤くなってる
かっ可愛い〜!
しゅんって…
いやいやありがたいですよ

〜〜〜〜っじゃなくて…
フルフルフル

あ…
あとは
私の問題
ですので…

僕
いつもこんな時
空回りばかりで—!…
格好が
つきませんね
お恥ずかしい
ひゃー
まぁ まぁ

中井さん
そんなこと
ないのに…
こういう時
なんて言ったら…
今度こそ
ありきたりな
言葉じゃなくて

22

フルフル
伝えなきゃ…
たとえ
言葉にするのが
下手っぴでも…

そんなことないです
中井さん
本当優しくて…
そのっ…
作品にも
それが滲(にじ)み出ていて…
あったかくて…
それで…

えっと
えっと…
?
そー…

あっ素手

釘?
あっ

この前
お寺の修理現場公開に
行ったのですが
文化
その時「和釘」という
今の丸い「洋釘」とは
違った 一本一本
手作りの釘があって…

その中の「巻頭釘」は
頭が
くるくるとしてある
釘なのですが
くるくるーっと
まるめる
洋釘にくらべ
腐食にも強く
食いつきも
いいです

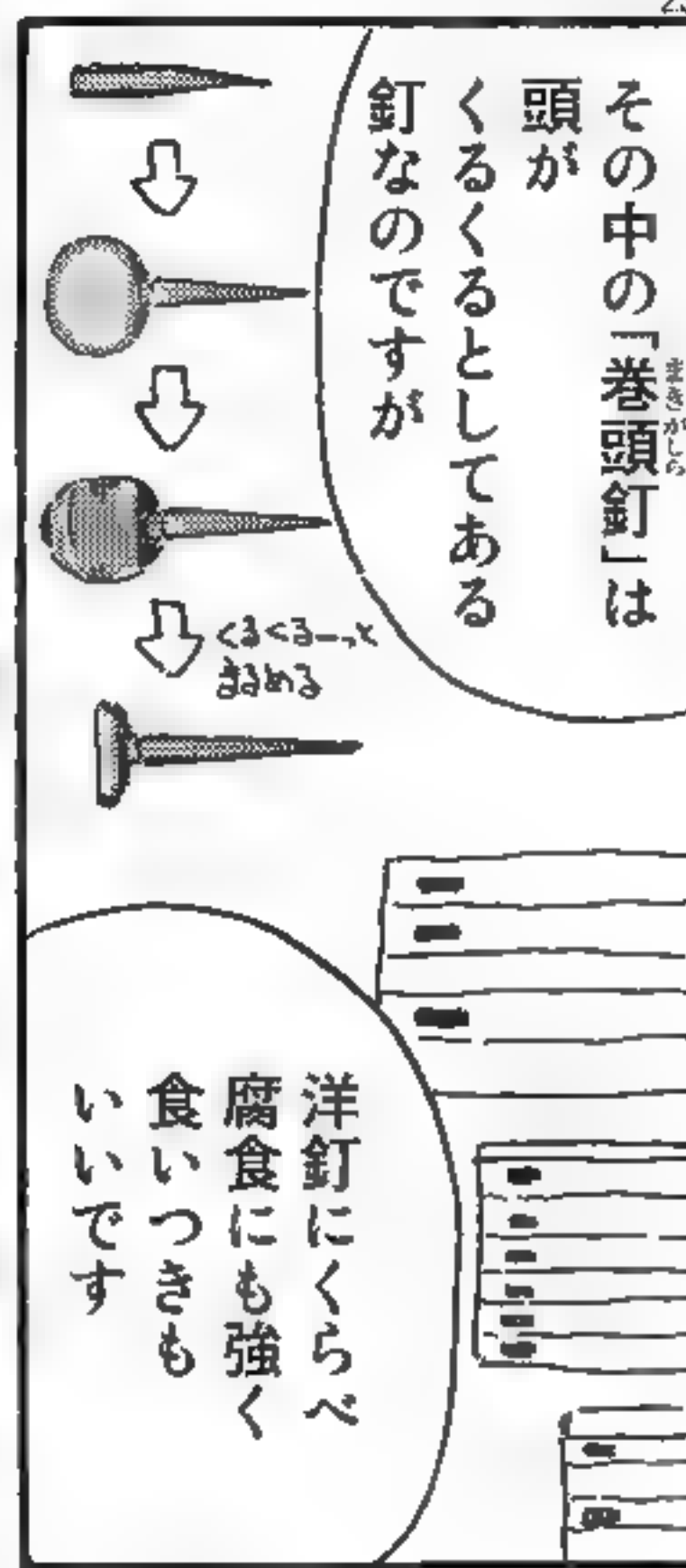
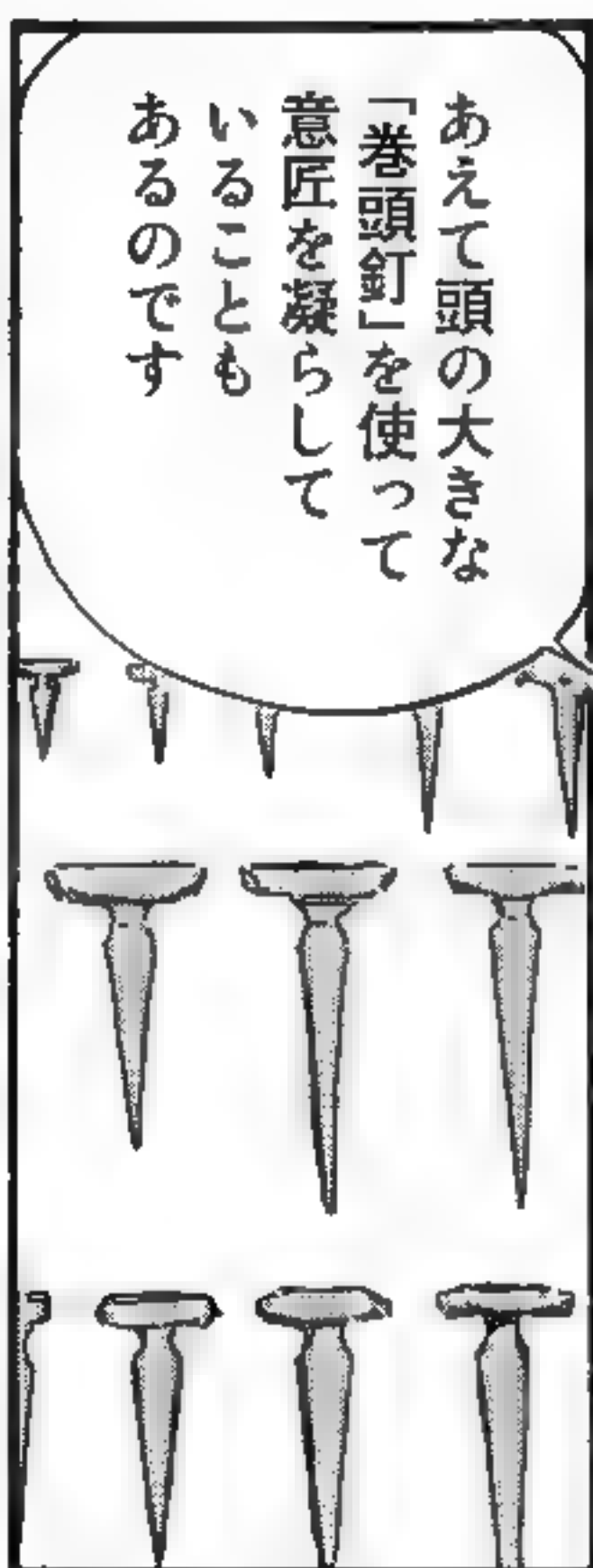
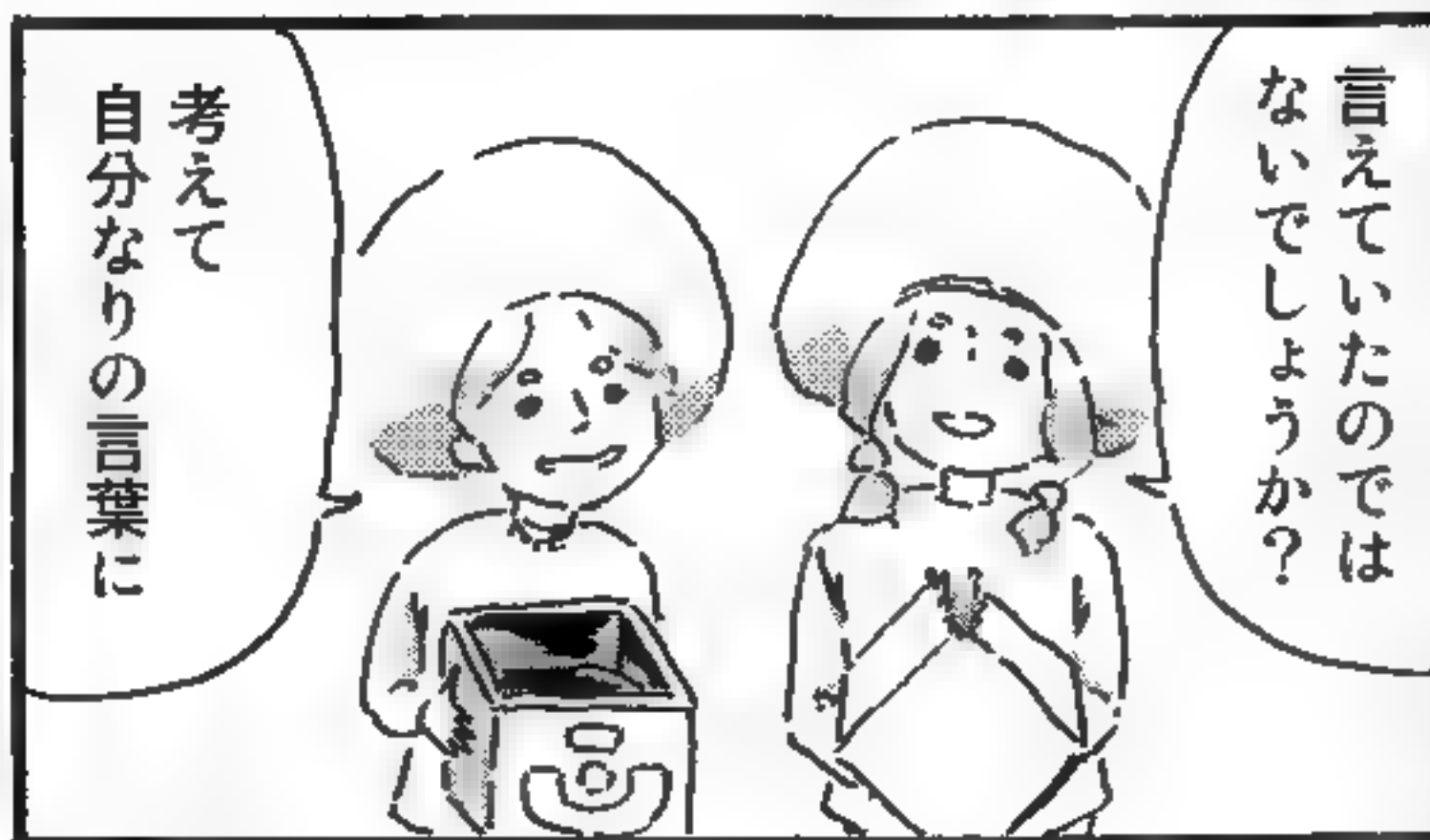
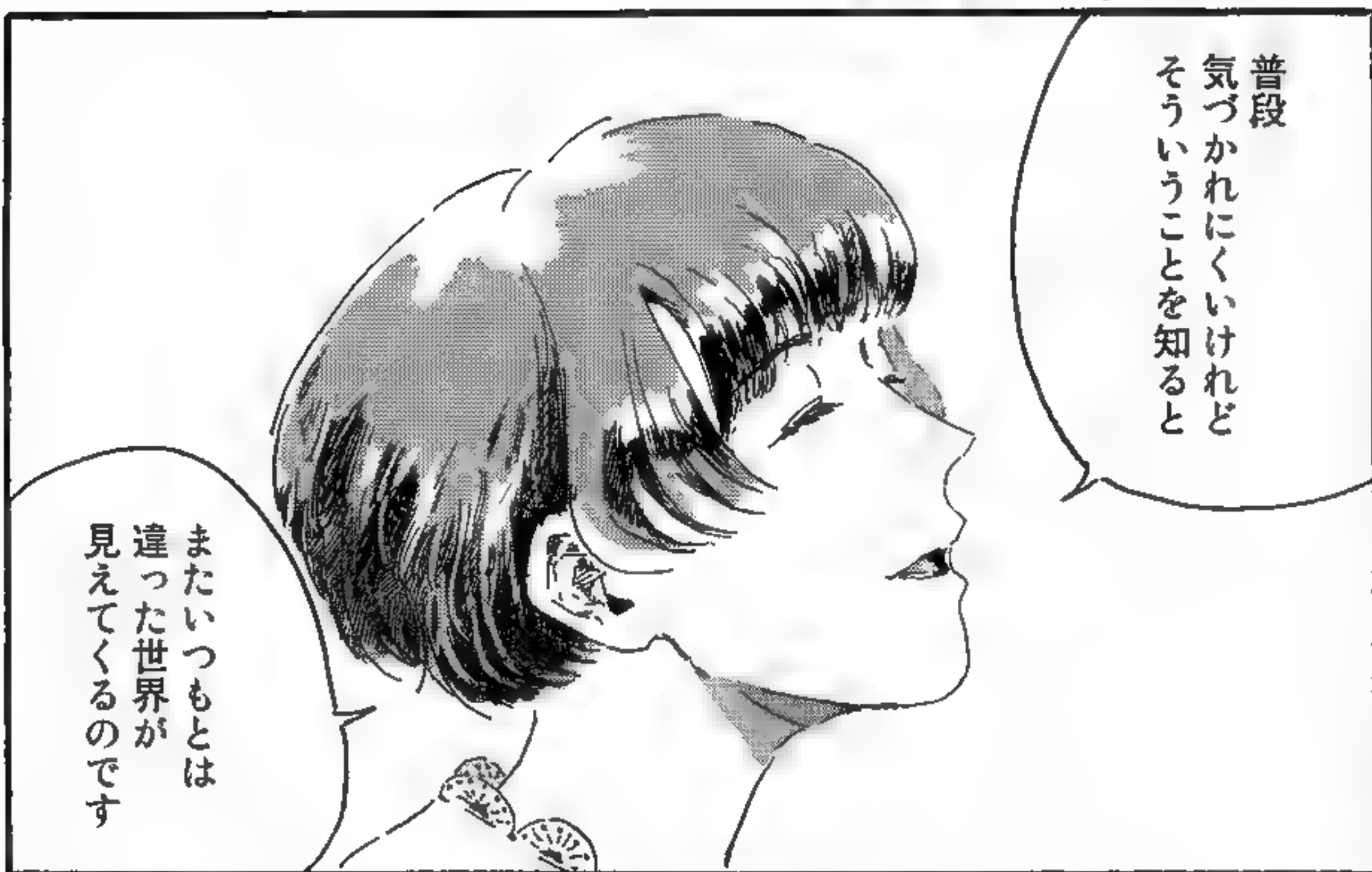
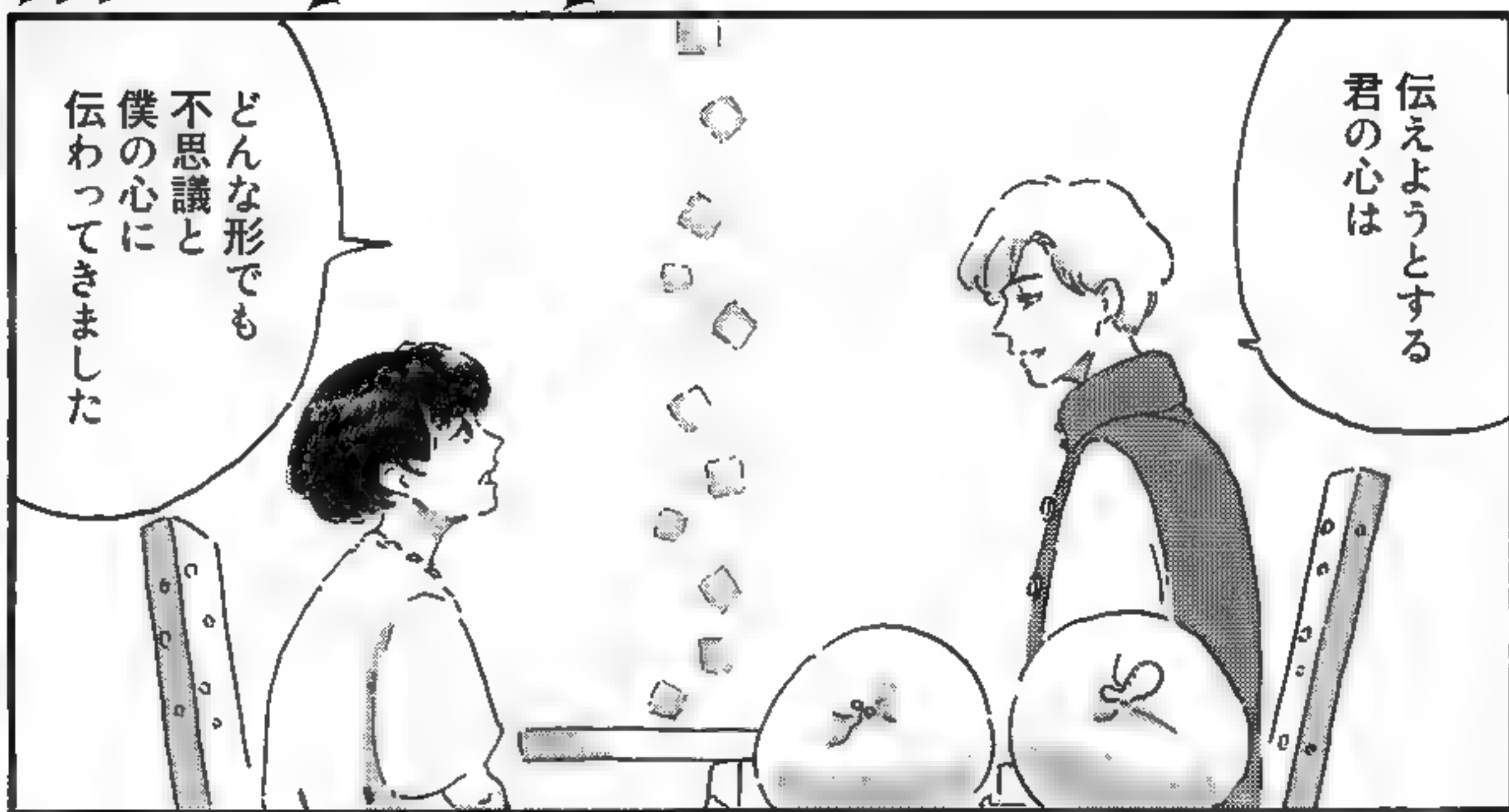
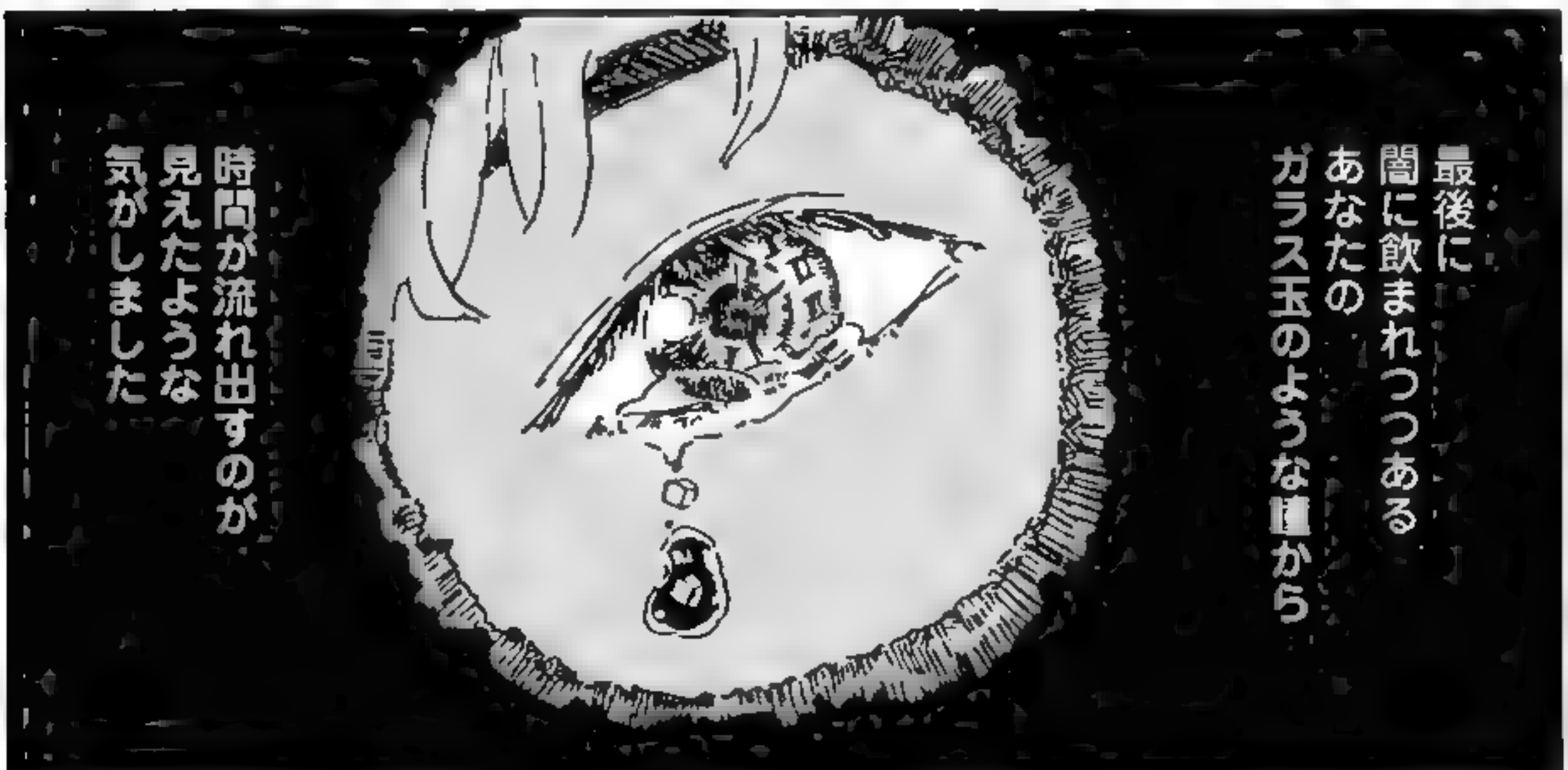
頭巻釘
また
大きさによって
呼び名も変わり
頭の小さいものは
「頭巻釘」と呼ばれ
目立たせたくない所に
使われていたり

あえて頭の大きな
「巻頭釘」を使って
意匠を凝らして
いることも
あるのです

普段
気づかれにくいけれど
そういうことを知ると
またいつもとは
違った世界が
見えてくるのです

だから
なんというか…
中井さんの作品って
それに近いものが
あると思うし
そんな世界観に
魅かれたと
いいますか〜…
ぐる〜
ぐる〜
だんだん
よく分からなく
なってきた
言えてるの
かな？

言えてい たのでは
ないでしょうか？
考えて
自分なりの言葉に

ね

きっと経験が
あなたの言葉を
形作っていくと
思います

あれっ
外が真っ暗に

どうやら
お別れの
ようです
えっ

ごきげんよう
また箱を開ける
その時まで…

最後に
闇に飲まれつつある
あなたの
ガラス玉のような瞳から
時間が流れ出すのが
見えたような
気がしました

26

ピンポーン
次
とまります
とまります

ガタタ
ガタタ
パチ

あっ
家の近く…
降りなきゃ…

今日のことは
次第に形を変えて
いくのだろうか
ピッ

それとも
忘れてしまうの
だろうか

確かに
そこにあったものを
手探りで
思い出しながら
カチ
カチ

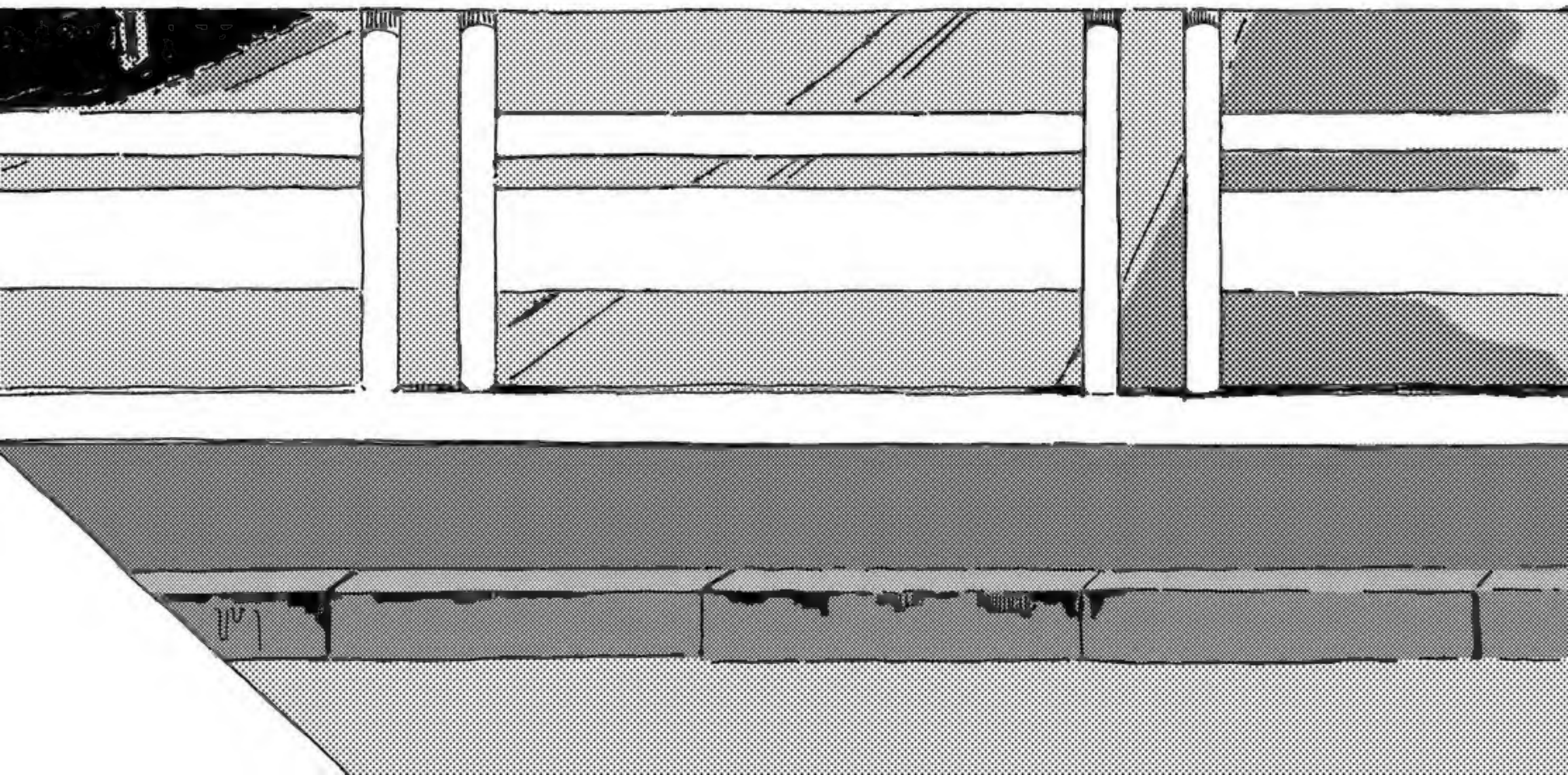
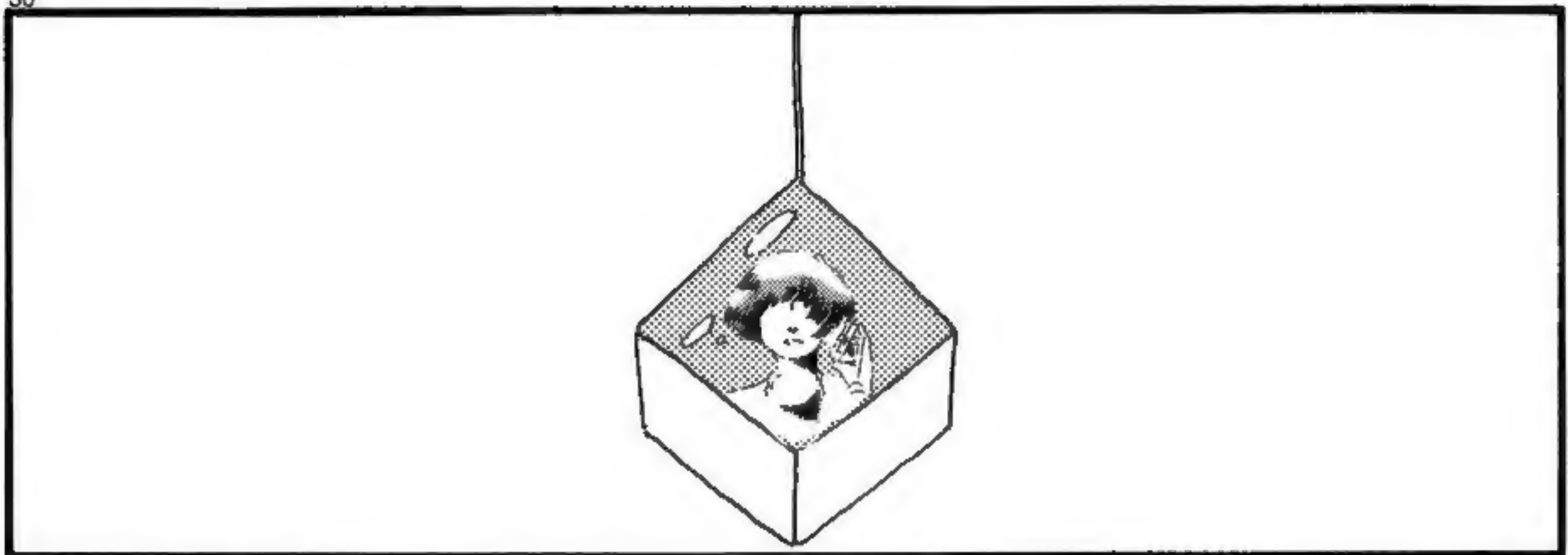
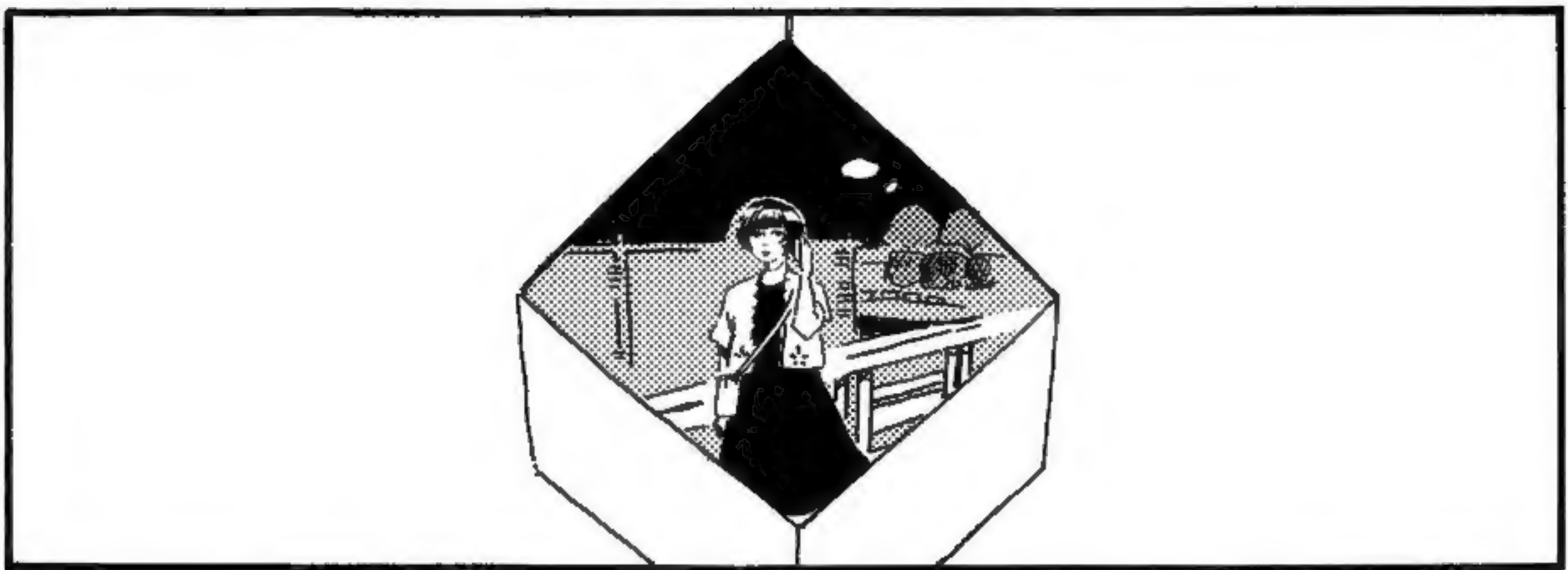
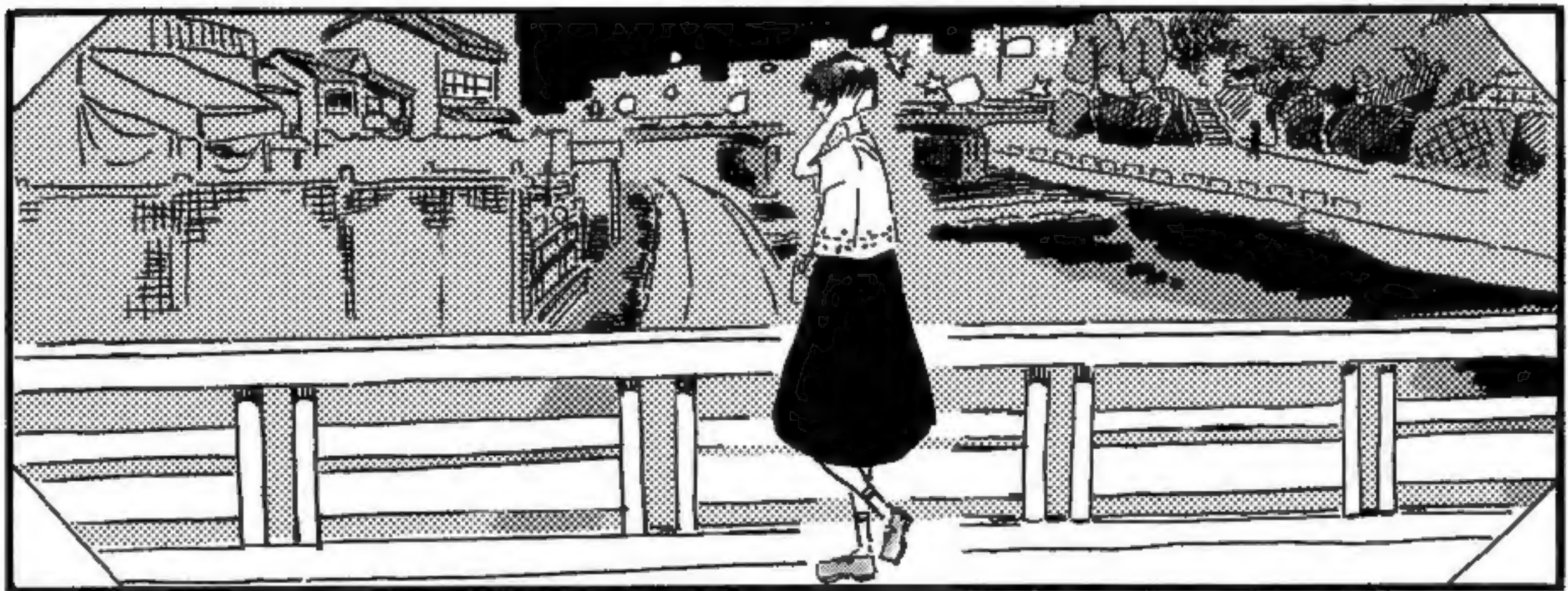
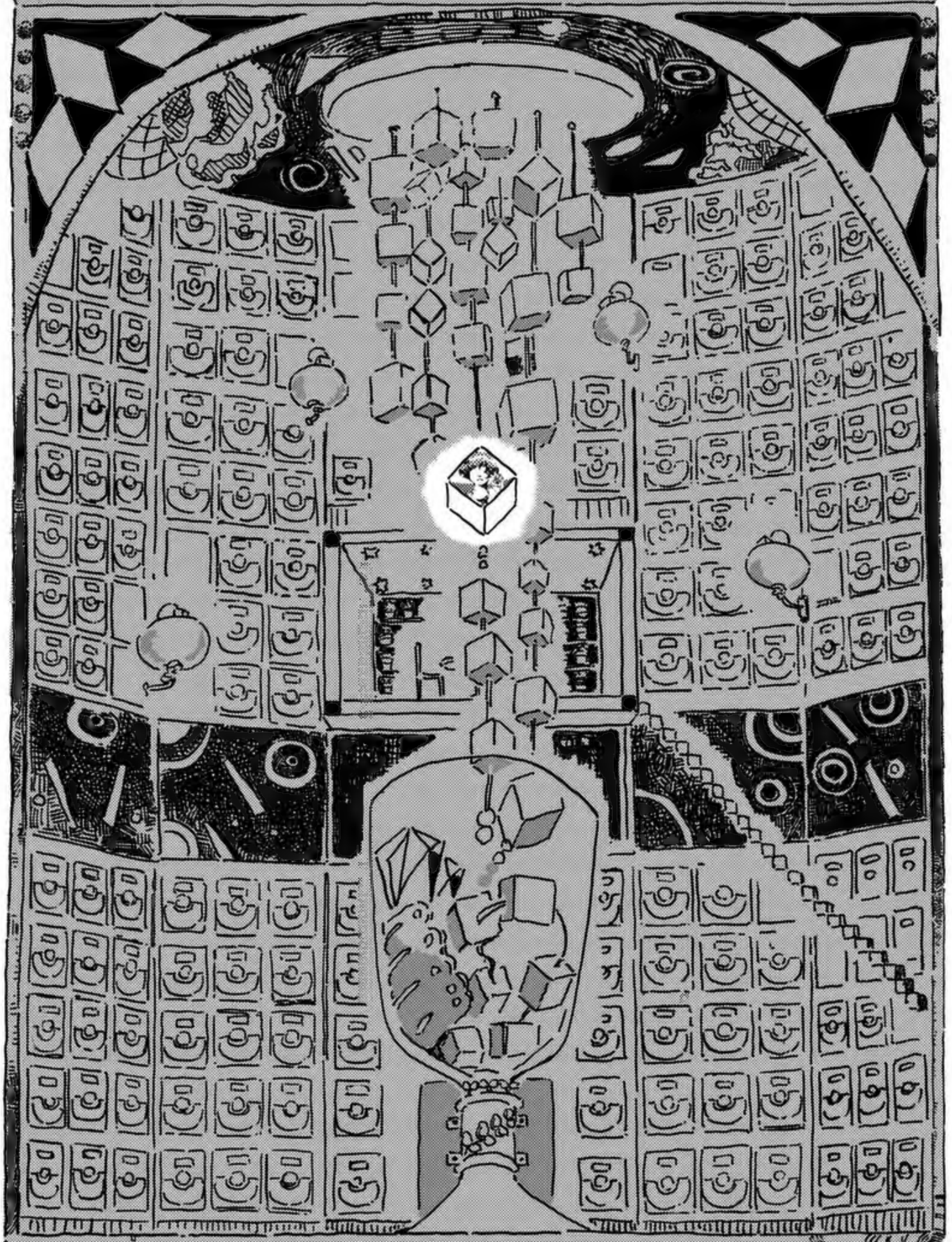
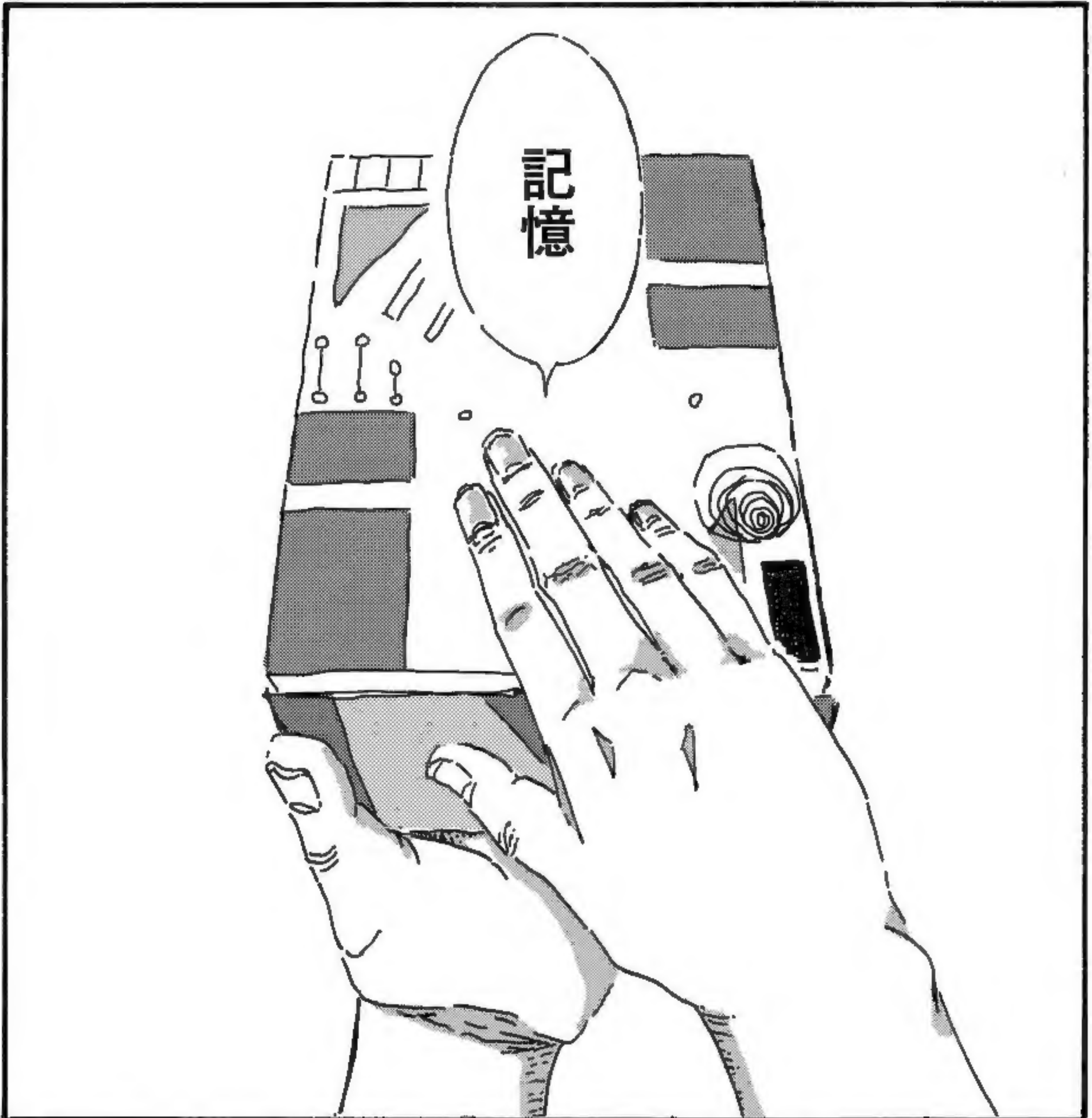
電話
友ちゃん
Face point
その他

忘れないうちに

もしもし友ちゃんー？

もしもし
友ちゃんー？

30

記憶の箱

その箱が、いつか私の人生の「宝箱」になりますように——。

記憶

箱の中の中／おわり
ご感想お待ちしてます！

栗田氏の次回作をお楽しみに!!